


国史跡 多田銀銅山遺跡 企画展 銀山攻略 ～第三巻 近代の夜明け 明治時代前期の多田銀銅山～ を開催!!

町教育委員会では、国指定史跡である多田銀銅山をより深く皆さんに知っていただくため、平成26年度から、多田銀銅山遺跡のガイダンス施設「悠久の館」で企画展を実施してきました。

過去2回の企画展では、江戸時代の採鉱・選鉱・製錬の調査や役所関連遺跡の調査を中心に報告してきましたが、今回は、鉱山史料をもとに明治時代前期の様子やそれをめぐる人々の姿を明らかにします。

古き良き面影が残る多田銀銅山に、ぜひ足をお運びください。

期 間 平成28年10月18日（火）
～平成29年3月26日（日）



開館時間 午前9時～午後5時
場 所 多田銀銅山 悠久の館
休 館 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
年 末 年 始（12月29日～1月3日）

金山彦神社・本町付近を描いた絵図面（個人蔵）

三次元映像体験コーナー



◆お勧めポイント①
間歩の3次元レーザ
スキャナを公開
平成21年度から、町内の間歩（坑道）の調査を行っている久間教授（松江工業高等専門学校）協力のもと、坑道探索ロボットを使いレーザにより立体スキャナしたものを映像化し公開しています。本来、間歩内には危険で入ることができませんが、実物大坑道模型の奥で映し出される映像は迫力満点で、坑道内の様子が手に取るようにわかります。ぜひ一度、体験してください。

◆お勧めポイント②
当時の人々の様子がわかる古文書

「鉱石見本差出入費御下渡願（こうせきみほんさしだしにゆうひおさげわたしがい）」には、役所の担当者にかかった経費の支払いを求めたところ「既に戸長に支払済だ」と回答され、「いえいえ何回もこちら側は確認しましたが、やっぱり支払ってもらっていません、もう一度お調べただけませんか…」というやり取りがあり、悲痛な様子がよくわかります。お金に関わるトラブルって昔も今もあるのですね。

◆お勧めポイント③

明治時代の鉱山道具
今回の企画展では地元のご協力により鉱山道具がたくさん展示されています。とくに銅をかき出す道具「ゆくみ」には、製錬時にすくい上げた銅が多く付着しており、青くさびた状態で残っています。

■関連イベント■

報告会 多田銀銅山遺跡調査成果報告会

日 時：平成28年12月17日（土）
午後1時30分～午後4時
場 所：生涯学習センター 視聴覚ホール
内 容：「多田銀銅山遺跡の調査～明治時代前半の遺跡～」
青木 美香（猪名川町教育委員会学芸員）
「3次元レーザスキャナを活かした多田銀銅山遺跡の調査Ⅲ」
久間 英樹（松江工業高等専門学校教授）
「明治時代前期の多田銀銅山の価値」
井澤 英二（九州大学名誉教授）

体験学習会 鉱石の元素を調べよう

日 時：平成29年1月7日（土）
午前10時～正午
場 所：多田銀銅山 悠久の館
対 象：小中学生 10名（応募多数の場合は抽選）
材料費：500円
いずれも事前申込要
□申込・問い合わせ
教育振興課社会教育室
（☎767-2600）



昨年の体験学習会の様子